

令和5年度（2023年度）第3回南大沢中学校区地域づくり推進会議 議事概要

日 時	令和5年（2023年）11月11日（土） 9：30～12：00
場 所	南大沢中学校 3階 家庭科室
出席者	参加者：飯田、磯田、今泉、加笠、柿島、木村、佐藤（昌）、高津、高橋、廣瀬、廣田、福澤、宮武、吉村 松が谷児童館：山田 由木児童館：鶴田 高齢者あんしん相談センター南大沢：滝川 はちまるサポート由木：土屋 第一層生活支援コーディネーター：今泉 経営計画課地域づくり担当：伊東、三井、橋本、田中 エックス都市研究所：田中、小市、松本、伊藤
当日資料	第3回南大沢中学校区地域づくり推進会議資料 資料1 将来ビジョン（事務局案） 資料2 プロジェクトPRシート（暫定版） 資料3 推進計画策定後の体制 資料4 推進計画（たたき台） 令和5年度（2023年度）第2回南大沢中学校区地域づくり推進会議議事概要（案）

1 開会

- ・経営計画課地域づくり担当より挨拶。
- ・第2回南大沢中学校区地域づくり推進会議を見学された田中氏、竹田氏（両名とも本日は欠席）が、新たに推進会議メンバーになった。
- ・推進会議終了後、“思い”のコメント記入と撮影予定。

2 プロジェクトPRシートのとりまとめ

プロジェクトPRシート（「南大沢Week」「居場所マップの更新（カルテの活用）」「公共的な場所の活用に向けた意見交換の場づくり」「南大沢地域プラットフォームの構築」）を基に、修正等がないか全体で確認を行った。

＜「南大沢Week」についての意見＞

- ・主旨相違なし。

＜「居場所マップの更新（カルテの活用）」についての意見＞

- ・主旨相違なし。

＜「公共的な場所の活用に向けた意見交換の場づくり」についての意見＞

- ・主旨相違なし。

＜「南大沢地域プラットフォームの構築」についての意見＞

- ・グループ名を「情報まどぐち」に修正。

3 推進計画について

資料 3 を基に、推進計画策定後の体制や活動の進め方について市から説明を行った

(市からの説明内容)

- ・計画策定後のプロジェクト推進のための体制について、令和 6 年度(2024 年度)からは、「推進会議」と「活動組織」を分ける予定。

令和 5 年度(2023 年度)は推進会議を 1 つの組織として「南大沢中学校区地域づくり推進計画」の策定を目的に進めてきたが、推進会議は「地域づくり推進会議を通じた行政と地域、地域間の連携強化」、活動組織は「地域づくり推進計画に基づくプロジェクトの推進」という目的別に 2 つの組織に分けて進めていく予定。

- ・「活動組織」を「推進会議」と別に作ることで、プロジェクトを機動的に進められ、市からの支援もしやすくなる。計画の中に 8 ページの体制を載せたい。
- ・「活動組織」の例としては、プロジェクトごとに活動組織を作り、プロジェクトを進める方法や、プロジェクトごとに中心人物を決め、組織内外から協力者を集ってプロジェクトを進める方法がある。事務所や会則の設定などが問題となる。

市としては、11 ページのパターン B に示した、1 つの組織内でグループを作り、プロジェクトを進める方法が皆さんの負担が少ないのではと考えているが、自分たちの地区に合ったやり方を選ぶのが良い。

- ・アクションプランについては、随時更新がしやすいよう、推進計画の冊子とは別にデータのみホームページで公開する予定。

義務感ややらされ感なく、皆さんが無理なく進めていけると良いという思いから「ほどほど作戦」としている。あらかじめ工程を決めて進めていく「ウォーターフォール型」の進行管理ではなく、小さなサイクルを繰り返して達成に向かっていく手法である「アジャイル型」で進め、活動を支援していきたい。

資料 4 を基に、冊子全体のデザインや、“思い”のページの挿入場所、インタビューを受けるメンバーについて話し合った。

(検討内容)

< 推進計画のデザイン >

- ・冊子の向きについて、パソコンは横型が見やすいが、スマートフォンや手に持った時は縦型が見やすいのではないか。
→縦型にする。
- ・推進計画の冊子はどこで誰が入手する想定なのか。
→地域の方向けに地域カルテと同様の場所での冊子配布のほか、市HPにも掲載する予定。(市)
- ・冊子の作成目的は何か。
→推進計画について、推進会議に参加していない方に知ってもらうため。(市)
- ・推進会議の活動への協力依頼をする際、活動紹介するためにも活用できそうだが、少し堅苦しい。
- ・表紙デザインは写真や情報を入れ、旅行誌のようなイメージがよい。やわらかく、楽しげなものが良いと思う。手に取って中を開きたくなるようなものが良い。
→福澤氏を中心に他推進会議メンバーの有志で表紙をデザインする。

< “思い”のページ(つながることで生まれたこと) >

推進会議に参加して変わったこと、生まれた活動などについて、意見を出し合った。

- ・子どもの居場所として「ぼまる場」を立ち上げた。
- ・まちづくり関連の会社を起業した。
- ・小学校と連携して、清水入り緑地の再生に向けた活動をすることになった。
- ・団体同士の連携(横のつながり)が生まれた。
- ・徒歩 15 分圏内の知り合いが増えた、声を掛け合えるようになった。

<インタビュー>

- ・「つながる」をテーマで様々な団体が参加しているが、各団体の中まで推進会議の活動の主旨が浸透していないのではないか。
団体の代表にインタビューし、計画に掲載することで、その人が所属する団体の方にも見ていただけるのでは、という思いからインタビューを企画した。
- ・何名程度の想定なのか
→各団体の代表にお願いしたい。今回の紙面には1～2名分掲載し、その後リレー形式でインタビューを実施し、HPに追加掲載していく。
- ・紙面掲載分は誰にお願いするか。
→昔ながらの南大沢を知っている人、子育て世代や学生が良いと思う。
→佐藤（昌）氏、久保田氏にお願いする。

<将来ビジョン>

- ・「かしこい」「かしこく」のキーワードは全世代向けなのか疑問。
- ・もっとシンプルにした方がよいのではないか。
- ・「リ・ニュータウン」はすでに春日井市の高蔵寺が使用しているキーワードだが、三大ニュータウン同士、同じビジョンを持って連携を取ってもよいのではないか。
- ・外国人にも伝わるようなわかりやすい日本語が良い。
- ・ゼロベースで考えたとき、アクションプランの内容とつながらないと感じた。
「緑豊かなアットホームまち南大沢」は普遍的なもの、「スマートな〇〇」が2040年に向けてより良い街にするための手段に当たると思う。
- ・繋がる・憩いの場が入っていないので「スマートなちからでゆるくつながる楽しいまち」など、アクションプランにつながるフレーズがあるとよいと思う。
- ・ひとつのシンプルな言葉で色々な意味にとれるよう「つなぐ」「つづく」などどうか。(市)
→「つづく・つながる」で確定とする。(エックス都市研究所)

4 フォーラムについて

令和6年(2024年)2月10日(土)「地域フォーラム」の開催を予定している。推進会議資料を基に、フォーラムのプログラム内容や呼び込み方について議論した。

(意見)

- ・学校関係者(児童・生徒、学運協、PTA、教員、校長など)に来てもらいたい。
- ・11/13の週、柏木小学校において学習発表会があり、6年生が地域連携として清水入り緑地をどうしたいかを発表することになっているので、フォーラムでも発表してもらおうのはいかがでしょうか。
また、4年生が「かがやけわたしたちの南大沢すてきマップ」という発表をするので、そちらもプログラムに含めてはどうか。

5 情報交換「みんなにシェア・みんなでシェア」

- ・広報誌「シルバーいきいき新聞」2号にイベントの紹介、生活支援コーディネーターの青山氏、認知症地域推進委員の轟氏の取組について掲載している。(高齢者あんしん相談センター南大沢)
- ・スマホ相談窓口の待ち時間に集まった人で交流できるようあんしん相談センター内に「ほっとひといきスペース」を設けた。(高齢者あんしん相談センター南大沢)
- ・11月17日(金)にサン・ライフにて介護予防イベントのいきいきフェスタを行う。(高齢者あんしん相談センター南大沢)

- ・11月19日（日）に南大沢駅前パオレビルにて南大沢スマートシティ協議会が東京都の進めるスマートシティ事業の関連イベント「南大沢スマートシティF E S. 2023」が開催される。参加費無料で、こどもにも参加してもらえる内容になっている。（市）
- ・本日、「大栗川キャンドルリバー」「長池公園みどりのあそび市」が開催されている。（市）

6 閉会

次の第4回推進会議の日程確認を行った。

- ・令和5年（2023年）12月16日（土）9時半～12時、場所は南大沢中学校3階家庭科室にて開催。

7 その他

- ・推進会議終了後、“思い”のコメントを画用紙にカラーマーカーで書き、マスキングテープなどで装飾する時間を設けた。
- ・コメントを書き終えたメンバーは、南大沢中学校家庭科室で撮影を行った。本日欠席した人については、後日、撮影に伺う予定。
- ・インタビュー候補者の久保田氏は、本日欠席していたため、市から連絡する。
- ・インタビューは情報まどぐちグループが主体で実施する予定。
- ・インタビューの日程は、改めて調整する。

以上

確定

グループ

地域をつなぐ
イベント

メンバー
☆：リーダー

☆田中茂、加笠、高津、吉村

タイトル

南大沢Week

ねらい

- ・地域内の活動・イベントを知ってもらう機会・場を提供する。
- ・イベントの連携により南大沢で活動する団体や個人のつながりづくりの機会・場を提供する。

イメージ

- ・「南大沢Week」の開催に向けて、仲間づくりからイベントの試行まで 段階的に実施。
- ・地域イベントをめぐるスタンプラリーを通年開催 ⇒同時開催でなくてもOK
- ・イベントの情報発信や団体情報の収集は 地域情報ポータルグループと連携実施

各団体のイベント
情報の整理
(団体名・イベン
ト内容・開催場
所・開催時期等)
団体への声かけ

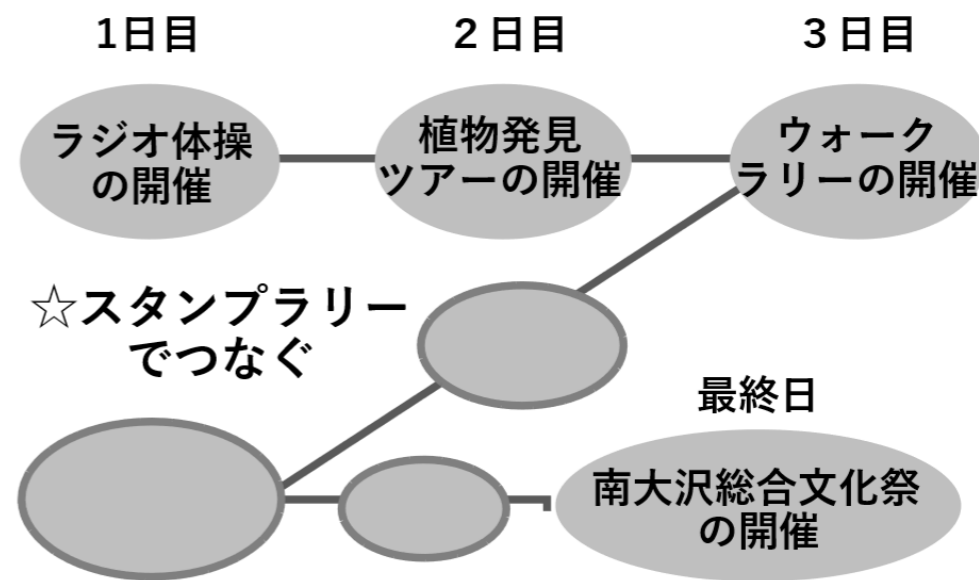
STEP 1 (1年目)
地域活動の情報収集・
団体へのアプローチ

STEP 2 (2年目)
団体連携イベントの試行的開催

大学や連携してくれる
団体と連携イベントを
開催し、改善点の把握

STEP 3 (3年目)
南大沢Weekの開催

<南大沢Weekのイメージ>



PR

- ・経験がなくても、面白そうと思った方は大歓迎です。
- ・一緒に楽しいイベント作りをしたい団体、個人を探しています。

確定

プロジェクトPRシート（暫定版）

グループ	憩いの場づくり	メンバー ☆：リーダー	☆久保田、木村、田中、廣田
タイトル	居場所マップの更新（カルテの活用）		
ねらい	・ 居場所を必要としている人に、居場所に関する情報を届ける。		
イメージ	<ul style="list-style-type: none">・ 誰が、どんな目的で、どの場所を活用できるか、居場所に関する情報を地域カルテのマップ等に追加。・ 居場所を必要としている人に情報が届くよう、居場所マップ（地域カルテ）は電子と紙面の両方を用意。  <p>広さ、設備貸出の条件など</p> <p>居場所づくりに使える施設紹介</p> <p>SNS、地域情報ポータルで電子ファイルを公開！</p> <p>紙の方が見やすい！という方向けに紙面も用意</p> <p>小さな子どもや外国人も行きやすい場所</p>		
PR	・ 情報発信ポータル等をつくれる方は、ぜひ、ご協力をお願いします。 ・ 居場所のサポーターになってくれる方も、大歓迎です。		

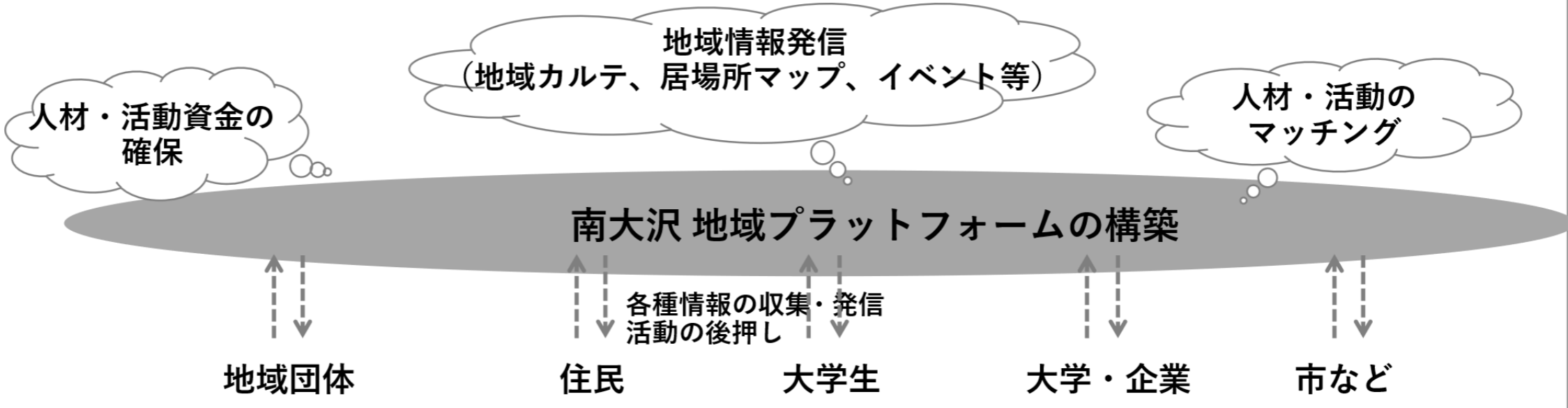
確定

プロジェクトPRシート（暫定版）

グループ	憩いの場づくり	メンバー ☆：リーダー	☆久保田、木村、田中、廣田
タイトル	公共的な場所の活用に向けた意見交換の場づくり		
ねらい	・活用できる場を、地域の居場所・活動の場として有効活用できるようにする。		
イメージ	<ul style="list-style-type: none">・公共的な場所を有効活用できるよう、施設等の管理者と話し合う。・お互いの意見を尊重しながら、関係者が納得できる活用のルールづくりを目指す。 <p>(仮称) 居場所づくり検討グループ</p> <p>施設管理者 住民有志 地域団体</p> <p>地域の窓口となり、地域の意見を収集し、検討グループで共有</p> <p>意見収集・情報共有</p> <p>住民</p>		
PR	<ul style="list-style-type: none">・地域の公共的な場所を活用したい人で、どうすれば活用できるようになるか一緒に考えてくれる方を探しています。・施設等の活用を検討してくださる管理者・管理団体、学校の参加・協力をお願いします。		

情報まどぐち

プロジェクトPRシート（暫定版）

グループ	情報発信 ポータル	メンバー ☆：リーダー	☆柿島、飯田、磯田、竹田、廣瀬、福澤
タイトル	見直しが必要でしょうか 南大沢地域プラットフォームの構築		
ねらい	<ul style="list-style-type: none">・住民をはじめ、大学生など地域に係る人の、地域活動への積極的な参加を促し、活動ができるプラットフォームを構築する。・地域活動の支援ができる仕組みをつくる。		
イメージ	<ul style="list-style-type: none">・地域の活動・人材・資源に関する情報を、地域に係るすべての人が持ち寄り・発信できるプラットフォームを作成・持続性を持たせるため、人材や活動資金が確保できる仕組みづくりを実施・この活動を通じて、能動的に動ける人材を育成 		
PR	<ul style="list-style-type: none">・プラットフォームとなるサイトを試行的に作成する予定です。ホームページ作りやSNSなどに詳しい方をはじめ、未経験でも興味のある方、参加大歓迎です！・“パッと目をひく”サイトづくりにチャレンジしたいと思っています。絵心のある方、デザインに自信のある方も、ぜひ参加してください。		

推進計画

推進計画のデザイン

- ・ 縦型
- ・ 表紙（3名で作成） ← るるぶ的写真&情報
楽しげな、やわらかいデザイン
推進計画のタイトル入れる

“思い”のページ（つながることによって生まれたこと）

- ・ まちづくり関連会社を起業
- ・ 小学校と清水入り緑地の連携
みどりが豊かに
- ・ 清水入り緑地の再生
- ・ 団体同士の連携
- ・ 徒歩15分圏に知り合いが増えた
- ・ 声をかけあえるようになった

インタビュー

- ・ 紙面には1~2人 → 久保田さん、佐藤さん
- ・ 今後更新していく（HPを立ちあげて）

将来ビジョン

- ・ 一文にする
- ・ アットホーム ⇐ 変わらない
- ・ スマートな〇〇 ⇐ 手段
- ・ つづく・つながる

フォーラム

- ・ 学校（校長）に来てもらいたい
- ・ 小学生、中学生（生徒会）
一発表の場とする 清水入り緑地（柏木小 小6）
すてきマップ（柏木小 小4）
- ・ 学運協